2024年度フィールドスタディ型政策協働プログラム（FS）オリエンテーション Q&A

Q1：採用地域が第1希望ではなく、第2、第3希望であった場合、プログラムを辞退できますか。
A1：原則第3希望までのいずれかの地域に採用となりますが、FSは自治体の皆様のご協力のもと成り立っているため、採用決定後のプログラム辞退は避けてください。可能な限り皆さんの希望に沿うように配慮しますが、昨年度、第2、第3希望の地域で参加した学生からも「第 1 希望ではなかったがこの地域に参加してよかった」といった感想が多くみられるように、どの地域の活動も、皆さんにとって有意義なものとなると思います。前向きに第3希望まで選択いただくよう、お願いいたします。

Q2：平均週にどれくらいの時間を割く必要があるのでしょうか。
A2：活動の進め方は各チームの自主性に任せており、活動スタイル・活動頻度が異なるため、一概に回答できませんが、現地活動以外の定期的な活動として、自治体やチーム内でのミーティングがあります。目安として昨年度の実績では自治体のミーティングを1ヶ月に1回、学生ミーティングを1週間に1回、もしくは1ヶ月に1、2回行っていたチームが多かったようです。時間は、1回につき30分から2時間程度が多かったようです。また、そのほかに現地活動の前後にも準備が必要となります。地域の課題や自治体・チームメンバーの繁忙期・閑散期によっても異なりますので、自治体の方とも相談のうえ、チーム内でコミュニケーションをとりながら、柔軟にスケジュールを調整してください。

Q3：夏の現地活動の日程がどうしても合わず、行くことができなかったら、プログラムを辞退する必要が出てきますでしょうか。
A3：原則、現地活動は参加必須としておりますが、万が一やむを得ない事情があり参加できなかった場合は、現地活動の代わりに、事前・事後調査でチームに貢献する等、参加できる機会に積極的に活動に取り組んでください。

Q4：活動全体における学生の費用負担はどの程度でしょうか？
A4：現地活動(上限 3 回)のための費用が主となります。FS は各県市町村の場所に応じて、当チームで活動支援金の金額を算定し、支給します。今年度は以下の算定基準にしたがって支給する予定です。活動支援金を超える部分については自己負担となります。自己負担額は地域や交通手段、宿泊方法によって若干異なります。もし不安がありましたら事務局までお気軽にお問い合わせください。

往復旅費：東京-担当地域間

往復旅費を以下の通り支給。

① 往復旅費が50,000円を超えない場合、大学規定に則って定額支給

② 往復旅費が50,000円を超え、75,000円未満であった者は、以下の通り支給。
（実費―50,000）×0.5+50,000

③ 往復旅費が75,000円以上の場合、75,000円を支給。

宿泊費：1 人 1 泊あたり 5,000 円
活動費：3,000 円/1 申請あたり

※予算の状況により支給額が変更（減額を含む）となる場合があります。）
※原則として報告書提出後の支払いとなります。

＜支給例＞
①現地活動(現地報告会)1 回　 3 月 7 日～3 月 10 日（3 泊）
往復旅費 1 回分　40,000 円(実費)

交通費　40,000 円
宿泊費　5,000 円×3 泊　15,000 円
活動費　3,000 円
活動支援金支払額計　40,000 円+15,000 円+3,000 円

②現地活動(現地報告会)1 回　 3 月 7 日～3 月 10 日（3 泊）
往復旅費 1 回分　70,000 円(実費)

交通費　（70,000―50,000）×0.5+50,000　60,000 円
宿泊費　5,000 円×3 泊　15,000 円
活動費　3,000 円
活動支援金支払額計　60,000 円+15,000 円+3,000 円

③現地活動(現地報告会)1 回　3 月 7 日～3 月 10 日（3 泊）
往復旅費 1 回分　80,000 円(実費)

交通費　75,000 円
宿泊費　5,000 円×3 泊　15,000 円
活動費　3,000 円
活動支援金支払額計　75,000 円+15,000 円+3,000 円

そのほかよくあるご質問

Q1：体験活動プログラムとの同時応募はできますか。
A1：FS と体験活動プログラムの同時応募は可能です。但し、応募にあたっては、スケジュール調整を行い、学業と両プログラムが両立できるかどうか検討してください。また、無理のない活動スケジュールを設定し、体調管理などにも十分留意してください。
FS はチーム単位での活動となり、自治体の皆様のご協力のもと成り立っています。もし途中で FS の活動を辞退することになると、チームのメンバーや自治体の方に、多大な迷惑をかけることになります。責任を持ってプログラム全期間をやり遂げら

れるか、十分に検討してから応募してください。

Q2：例年の FS 参加者の学年の比率はどのくらいになっているのでしょうか。

A2：年度により異なりますが、例年、学部前期課程学生と大学院学生がそれぞれ 3 割程度、学部後期課程学生が 4 割程度です。学部 1 年生から大学院学生まで幅広い学年の方が参加しています。